

インフォマティクス応用の未来を切り拓く — 世界動向・分野間連携・そして新たな挑戦 —

日 時

2025年 9月10日(水) 13:00~17:00

開催地

名城大学 天白キャンパス & オンライン



インフォマティクスを応用した研究開発が世界的に活況を呈しており、関連論文数は右肩上がりであり続けている。応用物理学会学術講演会においても、インフォマティクス応用セッションは多くの聴衆を集めるセッションの一つとなっている。しかし、このような裾野の広がり一方で、分野の専門化・細分化が進んでおり、分野間の知識共有や新規参入の障壁が高まっている側面もある。そこで、入門チュートリアルを開催と合わせて、インフォマティクス応用各分野の先導的研究者に、海外動向も含めて分野の現状を報告いただき、将来展望を議論するシンポジウムを企画する。

プログラム

- ✓ 大淵 真理 (JST-CRDS) 「マテリアルズインフォマティクスの世界動向」
- ✓ 高本 聡 (PreferredNetworks) 「r2SCANのエネルギー曲面を学習した汎用機械学習ポテンシャルの作成とその適用事例」
- ✓ 一杉 太郎 (東大) 「日本は自動・自律実験で世界をリードしている: 自信を持って前へ! ~データ・ロボット駆動科学の世界的動向と展望」
- ✓ 富谷 茂隆 (奈良先端大) 「計測インフォマティクスの進展と将来展望」
- ✓ 室賀 駿 (産総研) 「応用物理学会のインフォマティクス応用の歩みと分析」

【企画】 応用物理学会インフォマティクス応用研究会、応用物理学会インフォマティクス応用セッション

【世話人】 沓掛健太郎、知京豊裕、小飼真人